

沖縄県議会議員

沖縄県議会議員 辻野ヒロ子議員が、
平成17年第1回沖縄県議会において、
海底遺跡の視察報告・答弁をいたしました。

その詳細は、八重山毎日新聞にも3回にわたって掲載されました。

【観光リゾート局長との答弁です】

観光リゾート局長答弁
平成17年第1回沖縄県議会(一般質問)

質問者 辻野ヒロ子 議員
(商工労働部観光企画課：2763)

4 離島振興について
(質問要旨)4-(2)-ア
県として、現地視察で徹底調査し研究の必要性を感じたが、見解を伺います。
(海底遺跡の徹底調査と研究の必要性について)

(答)
観光リゾート局においては、平成12年度と13年度において、「与那国海底観光資源調査」を実施し、その利活用方法、広報宣伝等に関する検討を行いました。

その後、沖縄観光の情報発信システムである「真南風プラス」で海底観光資源に関する情報を広く発信しているほか、沖縄デジタルアーカイブ「ワンダー沖縄」で30分の映像コンテンツを制作し、与那国の観光資源と言

24

うに止まらず、本県の重要な観光資源として、情報発信に努めております。

最近の与那国町への観光客数は増加傾向にありますので、海底観光資源は、与那国観光の貴重な財産として活用されているものと考えております。

今後のさらなる活用につきましては、与那国町や地元観光関連業界の活用プランや主体的な取り組みを踏まえ、県としても協力してまいりたいと考えております。

25

【教育長との答弁です】

教育長答弁
平成17年第1回沖縄県議会(一般質問)

質問者 辻野ヒロ子 議員
(教育庁文化課：2731)

4 離島振興について
(質問要旨)4-(2)-イ
与那国島海底遺跡の遺跡認定の可否と現状保護について
(遺跡認定の可否と現状保護について)

(答)
県教育委員会が「遺跡」として認定するためには、明確にその当時の人たちが関わった痕跡を示す資料が提示される必要があります。

いわゆる「与那国島海底遺跡」につきましては、現時点では、提出された資料が十分ではなく、認定は難しいものと考えています。

今後、新たな資料の追加を踏まえて、認定の可否について検討していきたいと考えています。

26

また、遺跡として認定された場所の保護については、文化財保護法や文化財保護条例により対応していくこととなりますが、いわゆる「与那国島海底遺跡」の現状保護については、与那国町教育委員会や関係機関との調整を図りながら、考えていきたいと思っております。

27

二月十五日開会した二月定例会の冒頭、稲垣知事は二〇〇五年年度の「国政運営方針」を演説された。演説の要旨は、九項目にわたる詳細にわたる方針が、稲垣知事は、在日米軍再編が本格化する中、知事自らの訪米を含め、日米両政府が関係する、本県の基礎問題を含め、解決への大きな一歩となるよう努力する決意の程を伺い、心強く思った。

また、新年度は「新石垣空港」の実現設計調査費や「美ら島活性化特別事業」の環境整備費も分岐められたことも地味な注目を集めた。稲垣の期待も大きく、私語として「重宝を感ず、精一杯頑張りたい」と話された。

二月定例会一般質問は、大田町について行いましたので報告します。

一、新道建設促進について
 稲垣知事は、二〇〇五年年度の国庫補助事業として採択され、実施設計調査費が認められ、いよいよ建設許可申請へと進められるが、今後のスケジュールを伺いたい。

稲垣知事は、新道建設促進の進捗状況について伺いたい。

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

報告を得、早期供用に向け鋭意事業を進める予定である。

稲垣知事は、新道建設促進の進捗状況について伺いたい。

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと



県議会の窓から

沖繩県議会議員 辻野 ヒロ子

村、地域住民のボランティアの協力を得ながら、除雪等の実施を進めていく。

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

稲垣知事は、環境影響評価法に基づき、方法書、準備書の手続きを終え、また、評価書については、昨日、二月二十八日に国土交通大臣へ提出したと

四、離島活性化について

内閣府に設置された「離島活性化調査特別委員会」(通称・島研)は、大谷隆夫委員長(通称・島研)の指導下、離島の活性化を担う人材の育成や、各離島の地産地消を推進する...

沖城建設局長が...

沖城建設局長が、離島地域の活性化を図るため、沖城建設局管内の各離島を巡回し、関係機関と連携して、離島の活性化を図る...

県庁舎の移転が...

県庁舎の移転が、離島地域の活性化を図るため、県庁舎を移転し、離島の活性化を図る...

観光客の増加が...

観光客の増加が、離島地域の活性化を図るため、観光客の増加を図る...

島の活性化が...

島の活性化が、離島地域の活性化を図るため、島の活性化を図る...

島の活性化が...

島の活性化が、離島地域の活性化を図るため、島の活性化を図る...

研究で、観光客が...

研究で、観光客が、離島地域の活性化を図るため、観光客の増加を図る...

観光客の増加が...

観光客の増加が、離島地域の活性化を図るため、観光客の増加を図る...

島の活性化が...

島の活性化が、離島地域の活性化を図るため、島の活性化を図る...

島の活性化が...

島の活性化が、離島地域の活性化を図るため、島の活性化を図る...

島の活性化が...

島の活性化が、離島地域の活性化を図るため、島の活性化を図る...

島の活性化が...

島の活性化が、離島地域の活性化を図るため、島の活性化を図る...



県議会の窓から

議員の追加を踏まえ、県議会の窓から、離島地域の活性化を図るため、議員の追加を図る...

野ヒロ子

野ヒロ子、離島地域の活性化を図るため、野ヒロ子の活躍を語る...

消費者情報

消費者情報、離島地域の活性化を図るため、消費者情報を提供する...

「問題解決には県と各
地主会、市町村との連
携、協議が必要だとい
ているが、具体的にど
よ様な協議を行うのか伺
いた。」

〔知事公室長答弁〕

この問題については、
地主会の間でもさまざま
な意見や要望があり、特
に「旧軍飛行場地主会連
合会」に加盟する地主が
らば、個人補償以外に解
決策はないとの強い要望
がある。しかしながら、
個人補償での解決を要求
するとは、県議会や市
町村議会を含め、県民の
総意として国に補償費
計画に位置づけて解決を
図るよう要望したよう
と理解している。

とから、県政策会議にお
いて、沖繩振興計画に位
置づけられた青野や委託
調査報告書も参考にしな
がら総合的に検討した結
果県は団体補償を解決策
として推進することを基
本方向として確認した。
この考え方については、
関係市町村や各地主会へ
説明したところであり、
今後とも、各地主会でも
協議を行い、理解を得た
りと考えている。

「石垣市議会は、個人
補償を求める地主会の意
向を受け、特別委員会の
設置や、決議を行うなど
実現に向けて取り組んで
いる。このような状況に
対して、県はどのように
受け止め、対処する考え
なのか。」

〔知事公室長答弁〕

石垣市議会において、
旧軍飛行場用地問題に関
する意見書を探検したこ
とや特別委員会が設置さ
れたことは承知してい
る。当該特別委員会は、



沖繩県議会議員 辻野 ヒロ子

県議会の窓から

③

石垣市における旧軍飛行
場用地問題等について調
査研究し、その結果を議
会に報告することとなっ
ていると聞いているの
で、今後、県に資料提供
等の依頼があればできる
限り対応したいと考えて
いる。

六、安全で安心なまち
づくりの体制強化について
三浦県本部部長をはじめ
各委員の皆様におかれ
ましては、今年四月に開

催される「IDB年次総
会」を控え、いち早く人
事異動を行い、強力な体
制の下で、大会の成功に
向けに取り組んでおられ
ることに敬意を表しま
す。

去る二月二十一日、県
警本部の警察署長会議
で、県内十四警察署の中
から、二〇〇四年の年間
成績優秀な警察署に贈ら
れる賞を八重山署が「生
活安全」刑事「地域」の
三部門を制し、総合一位
の「県警本部賞」を受
賞した。国境の島や、多
くの離島を抱え、広範囲
にわたり、治安維持のた
めに、いろいろな知恵を
出さし、行政、地域と
一緒になって頑張ってい
る姿に本当に頭が下がら
れます。今後とも、安全で
安心なまちづくりのため
に、ご尽力頂きたいと思
います。また、この度、急
驟の「八重山警察署の新
築移転」が決まり、喜び
に湧いておられます。

八重山圏域は、多くの
離島を抱えており、人口
推移が年間約三百人増の
五万二千人余で、住民登
録をしていない方も少な
りの数だといわれています。
また、観光客入域数
も年間約四万五千一人増の
七十二万人を突破した。
これからも、新石垣空港
建設に向けて、かなりの
増加が見込まれ、このよ
うな状況の中で、事件・
事故の増加も懸念され
る。そこで、安全で安心
なまちづくりの確立のた
め、次の事について伺
いたい。

一、八重山警察署の新築
移転に向けて
ア、八重山圏域は、離
島が多く人口や観光客の
増加に伴って、事件・事
故も増えている状況にあ
る。警察官の増員につ
いての見解を伺いたい。
〔県警本部部長答弁〕
警察署は、都道府県警
察の第一線における警察
運営の単位であり、「地
域の治安維持の活動拠
点」として住民の生活に
密着した警察活動に重要
な役割を果たしている。
本県には、現在十四の警
察署があり、そのうち二
署は離島警察署となっ
ている。警察署の定員につ
きましては、人口、世帯
数、面積、行政区画、事
件・事故の発生状況等の
治安情勢に応じた配置を
行っている。県警では、
毎年、新たな治安課題へ
の対応のほか、業務負担
状況等を勘案し、定員の

なまちづくりの推進を担
当する係長(県民の身近
で発生する犯罪の抑止と
検挙により、その不安を
解消し、「治安の回復」
を図るための部署に配置
している。
現在の八重山署が市内
の美崎町で、夜になると
賑やかな飲食店街にあ
り、事件・事故が最も発
生している地域で、警察
署の存在は大きなもので
ある。移転後の不安が、
地域住民の声として上が
っている。
一、移転後の美崎町
(飲食店街)の警戒強化
が、ぜひ、必要だと考え
るが所見を伺いたい。
〔県警本部部長答弁〕
八重山警察署所在地や
その周辺にある美崎町の
飲食店街につきましては、
現在、大川交番が管轄し
ている。大川交番管轄地
域における事件事故の発
生状況やその負担状況、
交番からの距離等の観点
からも、八重山警察署の
新築移転後においても、
現在の体制で十分対応で
きるものと認識している
が、美崎町の飲食店街
は、石垣市の飲食街の中
心であることから、今後
ともパトカーの駐留警戒
や徒歩によるきめ細かな
パトロール等により、安
全確保に努めてまいりた
いと考えている。
おわりに
再質問では、「旧軍飛
行場用地問題」につい
て、個人補償を求める地
主会や、市町村との連
携、協議がもっと必要で
あり、問題解決に強力に
取り組むべきであると訴
えた。また、「県立八重
山病院の安定的医師の確
保」については、「医師
人材確保協議機関」を、
早急に設置することを確
認した。
本定例会は、二月十五
日(三月二十九日まで、
四十三日間の長い会期
で、代表質問、一般質問
の後、新年度事業・予算
の審議が行われる。三位
一体改革で、県や各自治
体を厳しい行政改革の中
で新年度を迎えることに
なり、私も、幸いな、予
算特別委員会のメンバー
として、県政に係る予算
書の数字にとらめ、こし
ながら、日夜頑張ってい
るつもりです。今後と
も、皆様の指導をよろ
しくお願ひ申し上げ報告
を結びます。(完)

2005.4.2 八重山新聞